

九州地区の8年1月住宅着工戸数

前年同月比5.9%減の5,555戸、熊本県は58.2%増

国土交通省がまとめた令和8年1月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比5.9%減の5,555戸で、床面積は同6%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が18.4%減、佐賀県が17.7%減、長崎県が16.2%減、熊本県が58.2%増、大分県が7.3%減、宮崎県が14.8%減、鹿児島県が28.9%減となっている。

新設住宅着工戸数(令和8年1月、令和7年1月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(m ²)		
	令和8年1月	令和7年1月	前年対比(%)	令和8年1月	令和7年1月	前年対比(%)
福岡	2,208	2,705	81.6	172,402	207,459	83.1
佐賀	256	311	82.3	24,449	25,385	96.3
長崎	464	554	83.8	30,652	39,341	77.9
熊本	1,506	952	158.2	102,466	68,831	148.9
大分	330	356	92.7	26,912	28,793	93.5
宮崎	368	432	85.2	29,137	34,023	85.6
鹿児島	423	595	71.1	34,472	43,575	79.1
九州地区計	5,555	5,905	94.1	420,490	447,407	94.0
沖縄	650	522	124.5	46,035	41,219	111.7
山口	532	223	238.6	44,101	18,748	235.2
全国計	55,898	56,134	99.6	4,240,640	4,272,865	99.2